

事務事業名	栃木県次世代人材づくり派遣参画事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号		
施策名	8	男女共同参画社会の実現			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和55年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	4. 社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	昭和50年度から開催された、県青年の船研修派遣事業と、昭和55年度から開催された「県女性の海外研修派遣事業」を、平成19年度から「次世代人材づくり事業」として1事業に統合され、本市はこの事業に参加者を派遣している。 青年リーダー・女性リーダー養成のための合同の研修で、県内・県外研修があるが、青年・女性それぞれで実施される。費用については、県・市が各1/2ずつ負担する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 ウィークリーニュースもおかに募集掲載し、応募者を募り選考により決定。平成27年度参加者は1名。 29年度計画 平成27年度で事業終了。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	応募者数		2	1	1		
	イ	お知らせ回数		2	2	2		
	ウ							
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・18歳以上40歳未満の市内在住勤男女 ・30歳以上66歳未満の市内在住勤女性	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	18歳以上40歳未満の男女		21,278	20,691	20,190		
	イ	30歳以上66歳未満の女性		19,532	19,256	19,011		
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 国際的視座を持った地域活動の推進役となるリーダーを養成する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	研修派遣者数(女性)		0	0	0		
	イ	研修派遣者数(青年)		2	1	1		
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域活動を積極的にに行い、指導的役割を果たすことができる。男女共同参画の推進役となる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	地域団体のリーダーとなった数		2	1	1		
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	110	50	50	0	
	事業費計(A)	千円	110	50	50	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	10	10	10	0
		人件費計(B)	千円	41	42	42	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	151	92	92	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域の青年リーダーを育成するため、昭和50年度から開催された、県主催青年の船研修に派遣しており、また、昭和55年から開催された、当初「婦人の翼事業」として発足し、翌年「栃木県女性の海外研修事業」となった男女共同参画の推進と女性のエンパワーメントを図るため、地域の各分野で積極的に社会活動を行っている女性を海外に、それぞれ派遣していた。 平成19年度から2事業が統合され、「次世代人材育成事業」となり、平成23年度より国内研修となった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	様々な分野において国際化が進んできているが、参加希望は減少傾向にある。 17年度までは、県が1/2、残額を市と参加者が1/4ずつ負担。18年度からは、県負担(1/4)、市負担(1/4)、参加者負担(1/2)に変更された。平成20年度は県負担・市負担・参加者負担が1/3ずつに変更され、平成23年度からは県・市の負担で、国内研修のみとなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加者から、各グループごとに希望するテーマに沿って研修先（県内外）を決めるので、自発的な研修ができる。日程もある程度自由がきくので、参加しやすいという感想が出た。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 県内外に派遣することで、新たな視点での地域活動の推進役となるリーダーを養成することに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域のリーダーを養成するために、市として補助金を出して派遣するのは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象は、18歳以上40歳未満の男女・30歳以上66歳未満の女性であり、多種多様化するニーズの中で、地域活動の推進役となるリーダーを養成するには効果的な事業である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 参加者の資質の向上が図れている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 青年リーダー・女性リーダー養成のための研修機会がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 派遣に必要な最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全域に広く広報で告知し、参加者を募集している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							